

仲間との関わりを
主体的に求め、
学校生活の充実と向上を
目指す子どもを育む学び



令和2年11月30日

秋田大学教育文化学部附属小学校
菅野 宣衛

特活部の研究テーマ

仲間との関わりを**主体的**に求め、
学校生活の充実と向上を
目指す子どもを育む学び

～よりよい人間関係を形成する
学級活動を通して～

話し合い活動において
他者の意見について
共感的かつ**建設的**に関わり、
学級や学校の形成者としての
「見方・考え方」を働かせながら、
学校生活がよりよくなるような考えを
主体的・協働的に導き出そうとする姿

どのように？

昨年度の成果

- ・ **「お試し」の活動やプレゼンテーション**
→主体的で目的意識をもった話し合い活動に
- ・ **自他の変容を見つめ、互いのよさを共有する場**
→話し合いの進め方に対する自覚
→よりよい合意形成の図り方への理解の深まり
- ・ **議題選定の理由を確認し、視点として共有する**
→「工夫考案型」の建設的な話し合いに

昨年度の課題

- ・主体的に話し合い活動を進め、
よりよい合意形成を図る指導の在り方

どのようにすれば
子どもたちが
主体的に話し合い
よりよい合意形成を図る
ことができるのか？

主体的に話し合い活動を進め
よりよい合意形成を図るために

何に
ついて？

論点

どのように？

方法

話し合いを進めるのが
自覚していることが必要

研究の重点

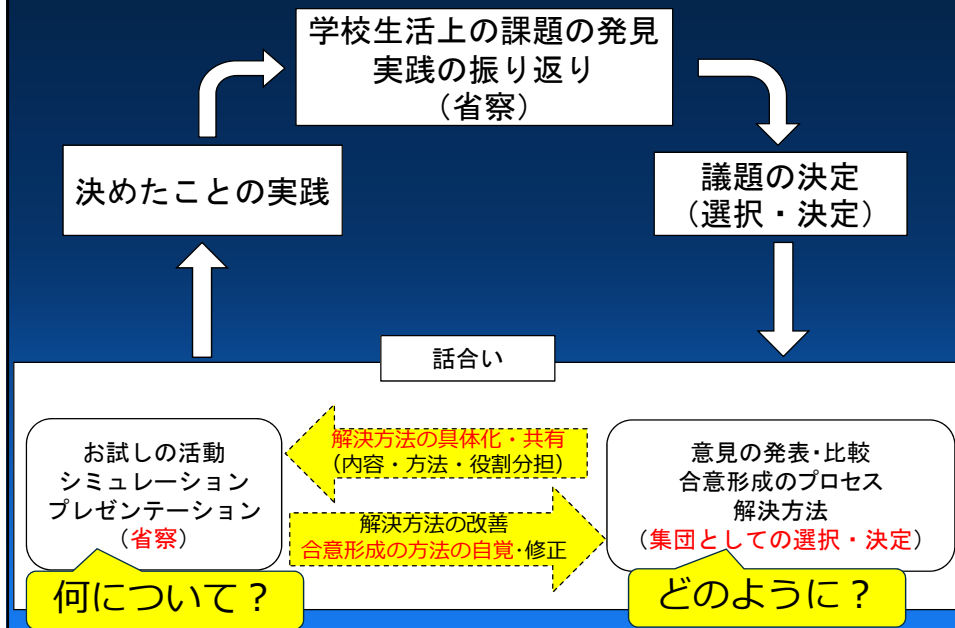
- 学校生活上の課題解決を目指す
目的意識のある話し合い活動にする
ための省察の場の工夫

何について？

- よりよい考えを協働的に導き出す
合意形成のプロセスの工夫

どのように？

学級活動 (1) 自律した学習者を育てる学習のプロセス



1年生の取り組み

どのように？

- 活動の似ている係をまとめる
- 係にしたらいいものと、自分で行うとよいものがあることを分類する
- 係の人数が多いときには譲り合うと解決する

6年生の取り組み

何について？

- 共通体験を土台とした焦点化した話し合い

どのように？

- フロアの参会者も合意形成の方法について助言できるように
- 司令塔（話し合いを俯瞰し、司会・黒板記録への助言をしながらコーディネートする役割）の設定

授業実践（5年）

第2回5C チームワークを高めよう 集会を開こう ～つくろう協力し合える楽しいクラス～



クラス目標「協楽」



どうすれば
協力し合えるようになれるのか？



5Cのチームワークを
高める集会を開こう

1学期に
第1回集会を
実施

子どもたちの実態

出し合う

○意欲的



比べ合う

▲論点がずれる
(賛成・反対のみで
非建設的)



まとめる

▲どのように
まとめるのか迷う
(よいところを活かせない)

目的意識のある話し合い活動にするための省察の場の工夫

何について？

課題や解決策を
具体的に捉え直す
省察の場の設定

議題 もっとチームワークが高まる
集会にしよう



提案の際にお試しの活動



課題や解決策を捉え直す場

チームワークを高める
ポイント

助け合う

一人一人に役割がある

共通の目標がある

= 省察の視点

5C会議 意見カード 10月 14日

名前 ()

議題	もとチームワークを高める活動によう。
話し合いの めあて	チームワークがもと高まるように活動を工夫しよう ①-入-役 ②助け合い ③同じ目標
決まっ ていること	なぞ当てるとき、ミッションのルールをついかける。
☆質問したいこと (ある人は書く) ☆	
☆自分の考え☆ なぞ当て→せいげん 時間をもと短くしたほうがいい なぞとき→ゆがらない人もいるしなぞ、なのでなぞなぞ などを出したほうがいいと思う。 ミッション→グループが 最初から回るのが決めれば こづいよくできる(きめるのは1人)	

課題

もっと
助け合える
ようにしたい



解決策

単語ではなく
文に

ヒントを言う
回数を制限

順番に言う

チームワークをもっと高めるように 活動を工夫する



提案者の振り返りカードから

ふりかえり今日の話し合いで、私たちが考えたとしているゲームの話し合いが、あつて、
5Cのみんながどうしてほしいか、どこになにをどうかかへうにつけてほしい
いのかが分れて、次のゲームをどうしたいと思いました。

- ・ 5Cのみんながどうしてほしいが分かった。

ふりかえり

今日は私の係でもなとくすあうな、いい意見をたくさん出して
くれたのでぜひ本番で使いたいなと思います。

- ・ いい意見が多くぜひ本番で使いたい。

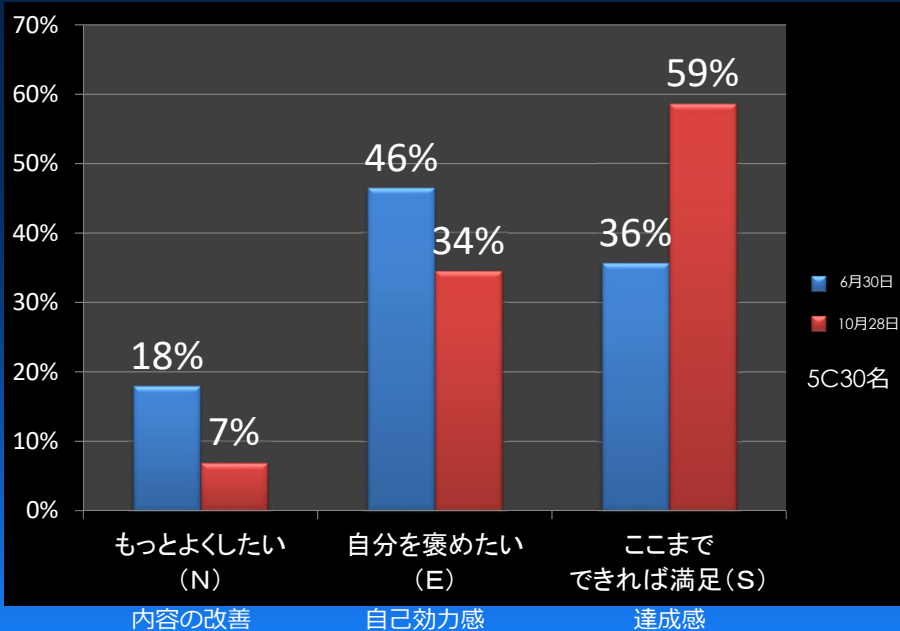
集会後の振り返りカードから

おためしめるときは「ここがいまいち」と思ったり分かんなく
 ぎる、と3つのゲームで思っていました。だけど今回の
 の本番では、「同じ目標」「人役」「助け合い
が3つのゲーム全てできていました。ぼくはこの集会
 でチームワークも高くなったと思うけども1回だけ
の話し合いでこれならいい集会になっていたの
ですごくいい思いました。

話し合いにより活動が改善された

話し合ってよかった!

提案理由を意識して集会ができましたか



目的意識のある話し合い活動にするための省察の場の工夫による変容

- 提案内容のよさや課題を明確に捉えられるように
- 解決策が具体的に

体験的活動という
具体を基にした省察



目的意識の高まり

助け合えるようにしたい

提案者から出された課題



合意形成につながる

何について？

論点

の焦点化



未完成 → 児童が選択・決定する余地



主体的に話し合う姿

合意形成に至る 手順・方法を絞り込む

どのように？



意見カードを基に司会グループが
選択し， 参会者に提案

司会グループ

意見カードを基に話し合いの
流れをシミュレートする



予想される意見や
まとめる手順・方法を
選択し， 司会カードに記入



参会者と共有

論点 (何について)

助け合いを増やしたい

一人一役になるようにしたい

手順・方法 (どのように)

対立する意見は
なさそうだ

賛成が多い意見
に絞り
少しずつ行おう

今年度追加した話し合いの技

【決定の仕方】例：A①→②→④か⑤→B

話し合い1
1はじめて

話し合い2
話を解き

A：たくさん意見が出たとき
※必ずみんなに決め方を確認する。

①にている 意見を まとめる。
1つに まとめてもいい 意見は ありませんか。
合併しても いい 意見は ありませんか。
②賛成の 多い 2つが 3つの 意見に しぼって、
話し合いを すずめる。
賛成の 多い、〇〇と 〇〇と 〇〇に しぼって
話し合います。これについて意見を出して下さい。
③順番を決める
順番を決めて行うということでしょうか。
④条件をつける
もしこうならできると言うアイデアはありますか。
⑤少しずつ行う
A・Bを少しずつ行うということでしょうか。
⑥ゆずり合う
ゆずれる人はいますか。

B：みんなが 同じ 意見の とき
〇〇に 賛成が多いのですが、ちがう考えの人はいま
すか。いなければ、決定して いいですか。

話し合い1の〇〇については、〇〇にきました。
次に、2 〇〇について 話し合います。(同じす
ずめ方)

10 決まったことの 確認	決まったことを確認します。ノート書記の〇〇さん お願いします。
11 振り返り	今日のふり振り返ります。 (書を終わったら)ふりがえりを、発表してください。 話し合いMVPを発表してください。
12 先生のお話	先生のお話です。先生、おねがいします。
13 子どもの言葉	これで、第10回 5C会話を終わります。

改善するための
意見を出し合う

↓

- ・ 賛成の多い意見 2～3つに
絞って進める
- ・ 少しずつ行う

↓

確認して決める

それぞれの考えの よいところを活かす話し合いの技

- ①新しい考えをつくる
- ②考えを合わせる
- ③順番を決める
- ④条件をつける
- ⑤少しずつ行う
- ⑥ゆずり合う

子どもたちがよく用いていたものを整理

話し合いの技を用いた発言が増え、建設的に



話し合い後の振り返りカードから

今日の話し合いのMVPは 代案を出して頂いた

理由は 意見を大事にしている と思ったからです。

有効な発言の仕方を価値付ける



ふりかえり 今日自分の係のなかったのに司会にあてられてはなす場面がたくさんありました。また⑤少しずつという意見の話し方ができました。

話し合いの技の自覚化

参会者の振り返りカードから

ふりかえり 工夫が詰まってよかったです。これをきっかけとして、アツクさせた気になります。みんな意見の質が外あがってきたので、よりよい話し合いになったと思いました。

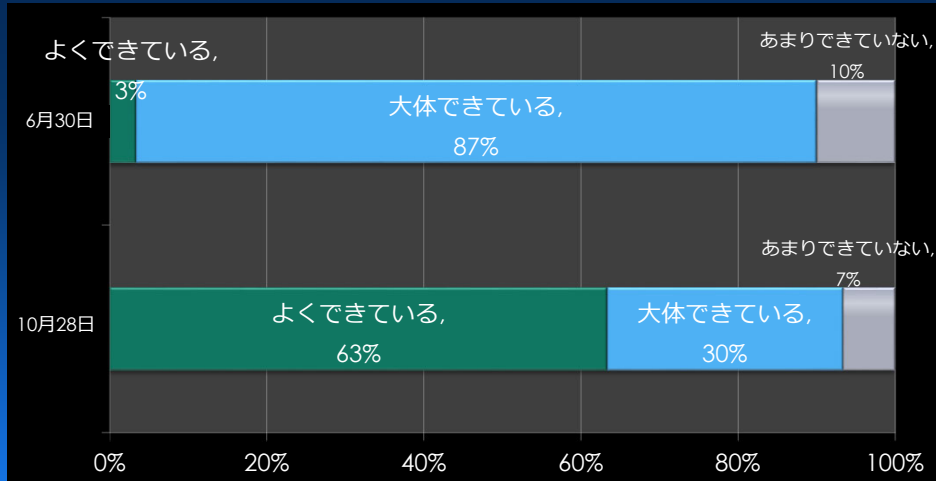
今日の話し合いのMVPは (K) さん

理由は、積極的に出る意見とあって、係も参加する人に引き出しのあるようなことにしていたから。

参会者も話し合いにおける意見の質の高まりを実感

話し合いのカチェックカードから

「自分もよくてみんなもよい話し合いの技」を使って意見を発表する
「よくできている」と答えた児童の割合（5C30名）



司会者の振り返りカードから

ふりかえり

みんなの意見をまとめられた。一人一人の意見をよくみんなの納得のいく案で進められたと思う。時間がオーバーしてしまっ

今日の話し合いのMVPは (S) さん

理由は、だれも考えなかったような、特別なピースを用意するというそれぞれの良い所を全かすの新しいアイデアで良いと思

た。

- ・ みんなが納得いく案で進められた
- ・ 話し合いの技も自覚している

合意形成のプロセスの工夫による変容

- 司会グループが **どのように？**
見通しを持って、話し合いを進められるように
- 参会者の発言が、合意形成のプロセスに沿った建設的のものに

↑
話し合いの見通しを**共有**

話し合いの進め方→

児童が選択・決定する余地を残す

成果

- 論点となる課題や改善策を明確にし、話し合いに向かう目的意識を高める上で**体験的活動を基にした具体的な省察が有効**
- よりよい合意形成に向けた**手順・方法を選択し、共有することで司会グループも参会者も見通しをもって話し合いに参加することが可能に**

課題



「それぞれの考えのよいところを生かす」力を高めたいと考えている児童が約4割



- 課題解決に向けて
「互いの考えのよいところを生かす」経験を積み重ねていく場の設定

<参考文献>

日本特別活動学会 2019年 「キーワードで拓く新しい特別活動—平成29年版・30年版学習指導要領対応」 東洋館出版社

森 和彦 2010年 「NES型学習自己評価法の工夫と改善～公立小学校での非限定的臨床応用による考察～」 秋田大学教育文化学部教育実践研究紀要 (34) 119 - 128

文部科学省国立教育政策研究所教育課程研究センター編 2019年 「みんなで、よりよい学級・学校生活をつくる特別活動(小学校編)」 文溪堂